

漁海況情報

第601号 (令和4年7月15日)

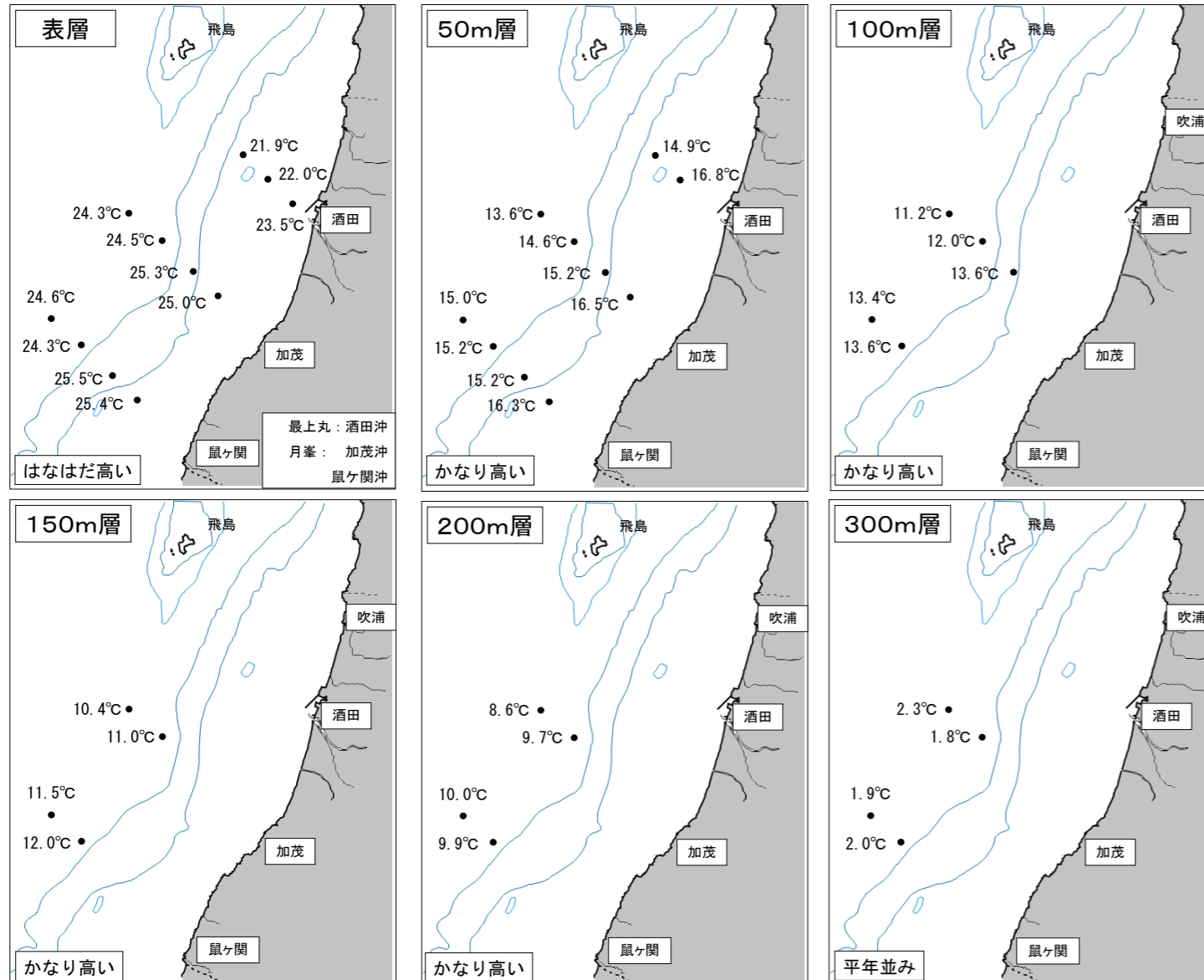
山形県水産研究所
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: //www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

- ・水産研究所「最上丸」と庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、それぞれ7月1日と4日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層は「はなはだ高い」、50m層から200m層は「かなり高い」、300m層は「平年並み」でした。
- ・6月の地先水温は鶴岡市加茂(水産研究所)は「平年並み」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)は「やや高い」でした。
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構は、令和4年7月8日に「2022年度第2回日本海海況予報」を発表しました。
○対馬暖流域の表面水温は、「やや高め」で経過する。
○対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部および北部ともに「平年並み」で経過する。

沿岸25海里定点各層別の平均水温(7月上旬観測値) 単位: °C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	24.3	15.3	12.7	11.2	9.5	2.0
前年差	+2.3	+0.2	+0.9	+0.2	+3.4	+0.4
平年差	+2.7	+1.2	+1.4	+1.2	+2.1	-0.0
評価	はなはだ高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	かなり高い	平年並み
(前月評価)	(やや高い)	(やや低い)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)

評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(6月)

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	19.3	-0.8	-0.4	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	18.7	+0.7	+0.5	やや高い

1. 2022年度 第2回 日本海海況予報 (国立研究開発法人水産研究・教育機構)

7月中旬～9月までの日本海海況予報は以下のとおりです。

- ・対馬暖流域の表面水温は、「やや高め」で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部ともに「平年並み」で経過する。



2022年7月中旬～9月の海況 (北部日本海周辺)

- 佐渡島北西の暖水域はやや南下し佐渡島西方に分布する。
- 山形沿岸の暖水域は縮小し消失する。
- 津軽半島西岸の暖水域は東進し津軽海峡から流出する。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はかなり離岸で経過する。
- 入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況はやや離岸で経過する。

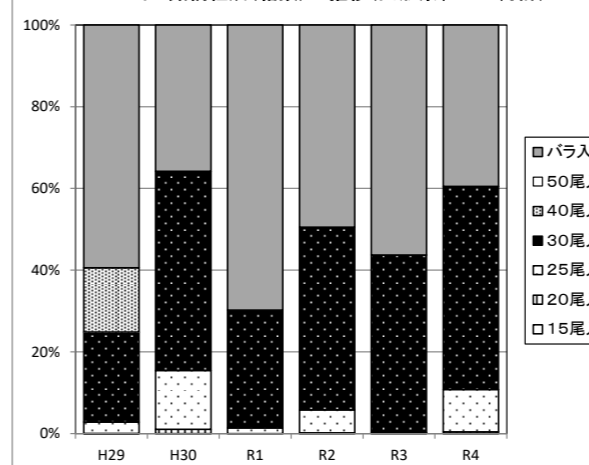
※ “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約3年に1回、“かなり”は約7年に1回の出現確率

2. 沿岸スルメイカ漁(いか一本釣り)の状況

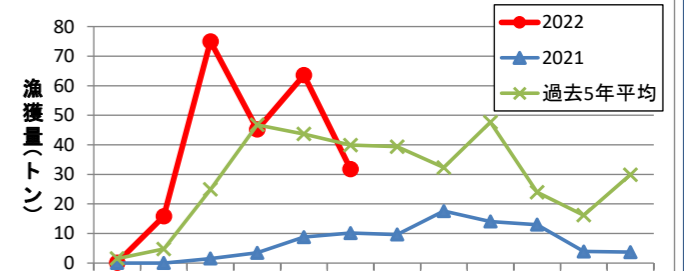
5～6月の本県のスルメイカ漁獲状況は以下のとおりです。

- ・出漁のべ隻数: 413隻 (前年比413%、平年比131%)
- ・漁獲量: 232トン (前年比970%、平年比143%)
- ・魚体サイズ: 30尾入が主体となっています。

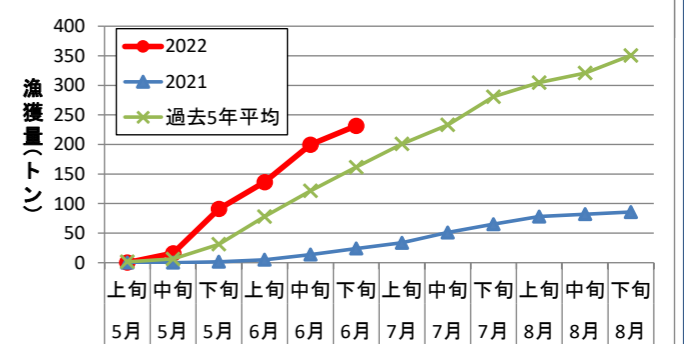
スルメイカ銘柄組成(箱数)の推移(山形県、5～6月計)



スルメイカ旬別漁獲量の推移(いか一本釣り、山形県)



スルメイカ累計漁獲量の推移(いか一本釣り、山形県)



6月の漁況

- 延べ操業隻数は1,456隻で前年比58%、総漁獲量は487トンで前年比86%でした。
- 底びき網漁業の漁獲量は220トンで前年並みでした。スルメイカは前年を上回り、ヒラメ、口細(マガレイ)、ムシガレイ、ヤナギムシガレイ、ハタハタ、ホッケ、アンコウ、ウマヅラ、タコ類、紅エビ(ホッコクアカエビ)およびマダラは前年を下回りました。タイ類は前年並みでした。
- はえなわ漁業の漁獲量は12.5トンで前年を下回りました。タイ類、メバル類およびブリ類は前年を下回りました。
- 定置網漁業の漁獲量は48.8トンで前年を下回りました。ブリ類は前年を上回り、ウマヅラハギ、トビウオ、フグ類およびアジは前年を下回りました。ヒラメは前年並みでした。
- 採貝藻漁業の漁獲量は10.5トンで前年を下回りました。アワビ、サザエおよびナマコは前年を下回りました。イワガキは前年並みでした。
- その他の漁業では、さし網漁業のヒラメ、キスおよびメバル類、ごち網漁業のタイ類、一本釣り漁業のメバル類は前年を下回りました。いか一本釣り漁業のスルメイカおよびかご漁業の浅海性バイ類は前年並みでした。

* 前年比は平成29～令和3年までの平均値と比較した値です。
 * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
 * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	95	115	408	73	195	109	46	375	1,456	58%	58%
総漁獲量	10,464	7,068	143,418	47,942	56,055	35,559	2,523	183,801	486,828	79%	86%
前年比	52%	37%	139%	58%	48%	66%	44%	86%	79%		
前年比	65%	44%	77%	68%	76%	96%	44%	114%	86%		

底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	20	53	59	22	139	293	71%	81%
タイ類	90	6,373	580	97	1,058	8,198	71%	91%
ヒラメ	364	81	1,068	199	505	2,218	56%	72%
口細(マガレイ)	687	46	421	127	281	1,561	41%	23%
ムシガレイ	694	181	833	593	1,577	3,878	89%	70%
ヤナギムシガレイ	249	72	302	117	172	912	74%	40%
ハタハタ	32		42	2	34	110	8%	6%
ホッケ	99	23,814	2,185	215	5,326	31,639	65%	68%
アンコウ	426	208	1,395	554	1,200	3,782	83%	80%
ウマヅラ		1,440	98		11	1,548	44%	62%
スルメイカ	1,341	2,954	20,883	7,033	101,600	133,810	58%	139%
タコ類	133	62	262	61	890	1,409	42%	42%
紅エビ(ホッコクアカエビ)	16	3,516			1,908	5,440	210%	56%
マダラ	553	2,716	772	72	3,374	7,487	83%	71%
その他	1,318	6,751	2,396	1,178	6,172	17,816		
計	6,001	48,213	31,236	10,250	124,106	219,806	62%	95%
前年比	41%	60%	46%	36%	75%	62%		
前年比	66%	66%	81%	71%	129%	95%		

はえなわ漁業

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数		13	13	6	23	19	16	46	136	63%	46%
タイ類		955		359	33	161		4	1,511	83%	16%
メバル類(※)		6		6		1			13	38%	2%
ブリ類		8		5		7			20	23%	2%
クロマグロ(30kg未満)			892	307	1,155	1,351	1,406	3,366	8,475		
クロマグロ(30kg以上)			430	67	77	36	569	1,146	2,325		
その他		35		46	13	32		10	135		
計		1,004	1,322	789	1,278	1,586	1,975	4,525	12,479	57%	54%
前年比		16%	107%	130%	49%	81%	54%	90%	57%		
前年比		24%	37%	135%	67%	68%	46%	77%	54%		

(※)アカラ(ハツメ)を含む

定置網漁業

支所	加茂	由良	豊浦	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	5	22	17	44	47%	50%
ヒラメ	433	723	827	1,983	191%	110%
ウマヅラ	194	436	982	1,611	62%	50%
トビウオ	14	65	327	406	536%	15%
フグ類	122	300	964	1,385	12%	11%
ブリ類	5,612	8,549	12,115	26,276	99%	140%
アジ	1,444	4,708	2,113	8,265	27%	44%
その他	1,190	4,707	3,011	8,908		
計	9,008	19,489	20,338	48,835	61%	77%
前年比	68%	54%	143%	61%		
前年比	122%	78%	166%	77%		

採貝藻漁業

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	60	29	44	11	61	22	26	82	335	37%	45%
アワビ	37	7	10	2	3	1	1	3	64	41%	24%
サザエ	125	308	3	135	484	110	125	664	1,954	48%	34%
イワガキ	2,895		3,134		1,219	188	189	61	7,684	76%	86%
ナマコ	17		13		38			2	70	6%	4%
その他	115	25		12	69	160	167	161	709		
計	3,188	340	3,159	148	1,813	459	482	891	10,482	39%	48%
前年比	74%	22%	67%	13%	31%	16%	26%	20%	39%		
前年比	63%	18%	74%	19%	48%	28%	39%	26%	48%		

※採貝藻漁業の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

その他の漁業

漁業種類	いか一本釣り漁業	さし網漁業	ごち網漁業	一本釣り漁業	かご漁業		
延べ操業隻数	261	177	32	89	70		
総漁獲量(kg)		5,491	6,854	1,945			
前年比		38%	54%	40%			
前年比		45%	56%	67%			
対象魚種	スルメイカ	ヒラメ	キス	メバル類(※)	タイ類	メバル類(※)	浅海性バイ類
漁獲量(kg)	140,580	292	383	538	5,882	342	4,748
前年比	629%	83%	48%	311%	55%	43%	73%
前年比	108%	65%	63%	80%	56%	41%	93%

(※)アカラ(ハツメ)を含む

最上丸の調査予定(7月中旬～8月上旬)

- マガレイ等の稚魚調査を行います。
- 計量魚群探知機を使用したスルメイカ沿岸調査を行います。
- 沖合礁にて底びき網漁場状況を調査し、情報提供します。

みなさま、調査への御協力
 よろしくお願ひします。

